

消毒の前に まず洗浄!!

保育室の床や器具も **洗浄** → (すすぎ) → **消毒** → (乾燥) の手順が大切です。

洗浄をせずに消毒をしても消毒の効果が減弱します。もう一度洗浄の大切さについて見直してみましょう。

洗浄とは？

洗剤等を使って、対象物からあらゆる異物(汚物・有機物)を除去すること。



消毒とは？

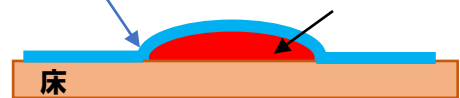
ウイルス・細菌などほぼすべての病原体を殺滅すること。

洗浄は、逆性石けんの入った簡単マイペットが、拭くだけで効果がありお手軽ですよ。



(愛大感染症対策室 田内久道先生の資料より)

消毒液 有機物(血液、鼻水など)



汚物が残っていると、消毒や滅菌が不十分になる危険性があります。



キッズケア・青い鳥

<子どもの発達に寄り添う保育をめざして>

『発達とは矛盾を乗り越えること』

子どもが「〇〇したい」と願うようになってところから発達が始まります。その願いから生まれる「〇〇したい、けれどできない」という矛盾。その矛盾を乗り越えていくことで、人は発達していきます。そして、それは自らの力で乗り越えていくことでしか実現しません。

～白石正久著「子どものねがい 子どものなやみ」より～

『なぜ発達を学ぶ必要があるのか?』

その子に合ったペースで、適切な関わりを持つためには、発達を知ることが大切です。今私たちは、改めて発達を学び、子どもたちが自らの力で矛盾を乗り越えるための支えになるような保育をめざしています。

次回から白石正久著
「子どものねがい こどもの
なやみ」の内容について
シリーズで掲載いたします。

2月のご利用状況

2月の利用延べ人数は66名、一日平均利用人数は3.5人でした。年齢別では、6歳児が11名(17%)で最も多く、次いで1歳児10名(15%)、5歳児の10名(15%)の順でした。2月の利用者の年齢層は1歳から9歳と幅広く、年齢別の利用人数もほぼ同数でした。2月はA型インフルエンザによる利用者が圧倒的に多かったことからこのような傾向になったものと思われます。インフルエンザによる出席停止期間は発症後5日間と長いため、連日仕事を休めないお母さんなどは、病児保育室をうまく利用していただければと思います。